

# 県債残高2兆9320億円過去最高 県民一人当たり47万円の借金を背負う

2013年度末における県債残高は2兆9320億円と過去最高になります。赤ちゃんから高齢者まで千葉県民一人当たり47万円の借金。もちろん個人の借金ではありませんが、いかに県財政がきびしいか実感のわく数字です。か

たや貯金はどれだけあるのでもしよ。県の貯金ともいえる財政調整基金の残高は2013年度末72億円という少なさです。この間、他の基金の安易なとりぐずし、廃止を行ない財源にあててきており、もう基金にたよることは

## “こんなところでチマチマ削減” “不用のハツ場にドカンと支出”

### ● ジョブカフェちば事業

予算1億3801万2000円  
前年度予算1億4670万円  
若者の就労支援事業、船舶

駅近くであり利用も増え続けて大変な盛況ぶり。約87万円の予算減によりスタッフ1名減とのこと。むしろスタッフを増員すべきと考えます。復活を要望。

### ● 親と子のサポートセンター事業

不登校・ひきこもり等の相談や場の提供をし当事者・家族を支援。

サポ広場の事業には嘱託職員として不登校経験の若者3名、そして家族の1名が入り事業を運営していましたが、この4名の人件費200万円を減。事業から実質、追い出したものです。不登校の子どもと接するにはその気持を理解し共有できる人材が必要。これも復活を要望。

### ● 2013年度ハツ場ダム事業に対して

治水負担金10億円、利水負担金として県内4水道事業体で26億800万円が予算計上。県水も工業用水も水余り。未利用水の活用をするべきです。ハツ場ダムからの撤退をしまなな公共事業にこれ以上の税金投入はやめるべきです。

## 千葉県がん対策推進条例制定(会派として反対)

### 重篤な副反応が報告されている

### 子宮頸がんワクチン接種推進に反対

議員発議された「千葉県がん対策推進条例」が制定されました。条例の制定主旨には異論はありません。しかし、条例の中で「高い予防効果が見込まれる予防接種を普及させるための施策」について健康福祉常任委員会の中で会派の藤代常任委員の質疑の結果反対しました。

子宮頸がんワクチン「サーバリックス」を接種した東京都杉並区の女子中学生(14)が、歩行障害などの重い症状が出て、1年3カ月にわたり通学できない状況だったことが、7日の区議会でも明らかになった。無料接種を行った区は「接種の副反応」と認め、補償する方針だ。補償額は未定。

子宮頸がんワクチン「サーバリックス」は3回の接種が必要。母親によると、女子中学生は12歳だった。2011年10月に区内の医療機関で2回目の接種をした。その直後、接種した左腕がしびれ、腫れて痛む症状が出た。症状は脚や背中にも広がった。今年1月には通学できなくなったが、割り算

(質問) 高い予防効果が見込まれる予防接種を普及させるための施策というこいですが、これは子宮頸がんワクチンのことなのか、それとも定期予防接種のことなのか

杉並区は10年7月、子宮頸がんワクチンの接種を全額無料化。現在は全国1700以上の自治体で、国の補助を受けた接種事業が行われている。国は法定接種を進める閣議決定をしている。

子宮頸がんワクチン接種推進がもたらされた条例です。ワクチンは万能とはいえず、ガン検診を受けなければ意味がありません。毎年30%弱と低迷している子宮がん検診率の向上に力を入れるべきです。巨額の税金を投入し、中学1年生から高校1年生の女子に子宮頸がんワクチンを強制すべきではありません。

子宮頸がんワクチン「サーバリックス」を接種した東京都杉並区の女子中学生(14)が、歩行障害などの重い症状が出て、1年3カ月にわたり通学できない状況だったことが、7日の区議会でも明らかになった。無料接種を行った区は「接種の副反応」と認め、補償する方針だ。補償額は未定。

厚生労働省によると、昨年8月末の時点で、全国で接種した延べ663万5千人のうち956人に副反応が起きていたという。失神が多いが「四肢の運動能力低下」「歩行不能」などで未回復の例もあり、副反応の発生率はインフルエンザワクチンの10倍程度という。

子宮頸がんワクチン接種推進がもたらされた条例です。ワクチンは万能とはいえず、ガン検診を受けなければ意味がありません。毎年30%弱と低迷している子宮がん検診率の向上に力を入れるべきです。巨額の税金を投入し、中学1年生から高校1年生の女子に子宮頸がんワクチンを強制すべきではありません。

子宮頸がんワクチン「サーバリックス」を接種した東京都杉並区の女子中学生(14)が、歩行障害などの重い症状が出て、1年3カ月にわたり通学できない状況だったことが、7日の区議会でも明らかになった。無料接種を行った区は「接種の副反応」と認め、補償する方針だ。補償額は未定。

厚生労働省によると、昨年8月末の時点で、全国で接種した延べ663万5千人のうち956人に副反応が起きていたという。失神が多いが「四肢の運動能力低下」「歩行不能」などで未回復の例もあり、副反応の発生率はインフルエンザワクチンの10倍程度という。

よく県政は見えにくい・わかりにくいといわれます。しかし、身近に様々な事業が行なわれています。下記の通り“県政を身近に・語ろう”を行ないます。江戸川新橋、区画整理事業、道路問題、医療・介護、児童虐待、DV等々…。語りましょう。

- ☆第1回 5月18日(土) 午後1時より  
南流山センター・会議室
- ☆第2回 5月20日(月) 午後1時より  
向小金福祉会館・会議室
- ☆第3回 5月23日(木) 午前10時より  
初石公民館・講義室
- ☆第4回 5月25日(土) 午後1時より  
森の図書館・会議室1

連絡先 小宮清子と住みよい流山をつくる会  
☎04-7159-3781

## 無料法律相談

一人で悩まずご相談下さい

毎週第4土曜日 午後2時～4時  
平和台2-4-3 社民党事務所  
(できましたら事前にご連絡下さい)

相談日以外でも弁護士への相談を受け付けます。

**法律相談** 法律を必要とするどのような問題でも直接弁護士が相談に応じます

**市民相談** 福祉、教育、環境、地域の諸問題など

**問合せ先** 04-7159-3781 (社民党事務所)

090-8431-8107 (小宮携帯)

(斎藤智子)